



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日  
上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社  
コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 聡  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFOユニット長 (氏名) 中川 由美 TEL 06-6222-0142  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日  
配当支払開始予定日 2024年9月5日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	73,136	△0.7	9,471	△9.0	10,434	△6.6	1,436	△81.7
2023年12月期中間期	73,625	3.3	10,406	5.5	11,174	2.5	7,864	2.1

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 9,078百万円 (△37.6%) 2023年12月期中間期 14,549百万円 (26.7%)

	1株当たり中間純利益
	円 銭
2024年12月期中間期	19.32
2023年12月期中間期	103.35

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	262,254	209,734	79.7
2023年12月期	267,473	204,816	76.4

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 209,137百万円 2023年12月期 204,370百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	43.00	—	58.00	101.00
2024年12月期	—	43.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	59.00	102.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
配当予想の修正につきましては、本日（2024年8月8日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	169,000	△2.6	24,000	△6.9	25,500	△6.7	12,100	△40.5	162.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年8月8日）公表いたしました「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有  
新規：1社 (社名)KOBAYASHI Pharmaceutical Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	78,050,000株	2023年12月期	78,050,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	3,711,090株	2023年12月期	3,711,086株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	74,338,912株	2023年12月期中間期	76,098,386株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.4「1.経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は2024年8月8日 (木) に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料につきましては、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	10
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11
(収益認識に関する注記) .....	12
(重要な後発事象の注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当中間期の経営成績の概況

当社が販売しております機能性表示食品「紅麹コレステヘルプ」を摂取された方において、腎疾患等が発生されましたことについて、数多くの皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、心より深くお詫び申し上げます。現在、原因究明に対して真摯に対応させていただいている最中ではございますが、再発防止に向けた徹底的な品質管理体制の構築を行い、信頼回復に全力をあげて取り組んでまいります。

当中間連結会計期間における当社グループをとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴って多くの国で経済活動が再開し、国・地域を越えた移動も増加傾向にある中、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇に伴う消費低迷の懸念や、地政学リスクの高まりなど、先行きが不透明な状況が続きました。

その結果、売上高は73,136百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は9,471百万円(前年同期比9.0%減)、経常利益は10,434百万円(前年同期比6.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,436百万円(前年同期比81.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

## 国内事業

当事業では、お尻などのブツブツ治療薬「ヒプキュア」や、香りで気持ちを整えることを目指して調香した機能性芳香剤「Sawaday+ & Emotion(サワデーアンドエモーション)」、10大悪臭に効く香りでごまかさない無香料の消臭剤「消臭元ZERO(ゼロ)」や、過敏になった気管を正常化することで、「長引く咳」を治療する漢方薬「ゴホナス」など、今年春に15品目の新製品を発売し、売上に貢献しました。

また、訪日外国人数の増加に伴い、インバウンド需要も増加し、売上に貢献しました。

しかしながら、紅麹関連製品の自主回収の影響で、特にサプリメントを含む食品カテゴリーが苦戦し、ヘルスケアが減収となりました。また、紅麹関連製品の自主回収を発表しました2024年3月22日以降、国内は全製品の広告を停止しており、好調だった日用品の売上も減速しました。また、通販においては、定期購入の解約が増えた影響で減収となりました。

その結果、売上高は56,751百万円(前年同期比5.7%減)、セグメント利益は9,784百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前中間連結会計期間では2,425百万円、当中間連結会計期間では2,012百万円となっております。

## (外部顧客への売上高の内訳)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	増減	
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
ヘルスケア	30,919	29,823	△1,096	△3.5
日用品	21,233	21,471	237	1.1
カイロ	1,777	709	△1,068	△60.1
通販	3,837	2,735	△1,101	△28.7
合計	57,767	54,739	△3,028	△5.2

国際事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

米国では、サプリメント・一般医薬品を販売しているFocus社を2023年10月に買収し、それによる売上貢献がありました。また、為替変動の影響による売上の増加も寄与し、増収となりました。

中国では、国内と同様に広告を停止している影響で、減収となりました。

東南アジアでは、主力の「熱さまシート」と「アンメルツ」が好調に推移し、円安による為替変動の影響による売上の増加も寄与し、増収となりました。

その結果、売上高は18,965百万円（前年同期比14.4%増）、セグメント損失は491百万円（前年同期はセグメント利益869百万円）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前中間連結会計期間では1,033百万円、当中間連結会計期間では824百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
米国	4,663	6,919	2,255	48.4
中国	5,512	4,866	△646	△11.7
東南アジア	3,810	4,443	633	16.6
その他	1,550	1,910	359	23.2
合計	15,538	18,140	2,602	16.7

その他

その他には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は3,310百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は177百万円（前年同期比36.6%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前中間連結会計期間では3,149百万円、当中間連結会計期間では3,053百万円となっております。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ5,219百万円減少し、262,254百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（19,472百万円）、受取手形及び売掛金の減少（17,868百万円）、商品及び製品の増加（8,098百万円）、建物及び構築物の増加（20,364百万円）、投資有価証券の増加（1,117百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ10,136百万円減少し、52,520百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（7,888百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,917百万円増加し、209,734百万円となり、自己資本比率は79.7%となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（2,875百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（912百万円）、為替換算調整勘定の増加（6,680百万円）等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは5,522百万円(前年同期は7,246百万円)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が2,255百万円、減価償却費が3,149百万円、製品回収関連損失引当金の増加額が3,603百万円、売上債権の減少額が18,942百万円、棚卸資産の増加額が7,492百万円、仕入債務の減少額が2,604百万円、未払金の減少額が5,921百万円、法人税等の支払額が4,013百万円あったためです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは△14,879百万円(前年同期は△8,083百万円)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が17,192百万円、定期預金の払戻による収入が24,341百万円、有形固定資産の取得による支出が21,729百万円あったためです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは△4,438百万円(前年同期は△4,061百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額が4,310百万円あったためです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より12,518百万円減少し、47,172百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、本日(2024年8月8日)公表いたしました「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	71,536	52,064
受取手形及び売掛金	53,028	35,159
有価証券	8,300	8,300
商品及び製品	13,308	21,407
仕掛品	1,767	1,931
原材料及び貯蔵品	7,006	7,491
その他	3,427	6,027
貸倒引当金	△44	△32
流動資産合計	158,331	132,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	10,611	30,975
機械装置及び運搬具 (純額)	5,152	5,525
工具、器具及び備品 (純額)	1,501	2,497
土地	4,900	5,891
リース資産 (純額)	964	1,115
建設仮勘定	24,534	19,785
有形固定資産合計	47,665	65,790
無形固定資産		
のれん	9,655	10,177
商標権	8,792	9,178
ソフトウェア	2,664	2,606
その他	501	544
無形固定資産合計	21,614	22,506
投資その他の資産		
投資有価証券	32,124	33,242
長期貸付金	1,132	1,216
退職給付に係る資産	292	351
繰延税金資産	2,647	3,366
投資不動産 (純額)	2,678	2,664
その他	2,163	2,027
貸倒引当金	△1,176	△1,261
投資その他の資産合計	39,862	41,607
固定資産合計	109,142	129,905
資産合計	267,473	262,254

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,745	8,754
電子記録債務	8,560	6,310
未払金	25,037	17,148
リース債務	379	423
未払法人税等	4,059	1,999
未払消費税等	788	195
賞与引当金	2,705	2,692
製品回収関連損失引当金	—	3,603
その他	5,836	4,800
流動負債合計	56,111	45,930
固定負債		
リース債務	608	721
繰延税金負債	2,594	2,525
退職給付に係る負債	939	967
その他	2,403	2,374
固定負債合計	6,545	6,590
負債合計	62,656	52,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	522	522
利益剰余金	205,681	202,806
自己株式	△24,766	△24,766
株主資本合計	184,887	182,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,819	13,732
為替換算調整勘定	6,403	13,083
退職給付に係る調整累計額	259	308
その他の包括利益累計額合計	19,483	27,125
新株予約権	446	596
純資産合計	204,816	209,734
負債純資産合計	267,473	262,254

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	73,625	73,136
売上原価	31,134	32,379
売上総利益	42,490	40,757
販売費及び一般管理費	32,083	31,285
営業利益	10,406	9,471
営業外収益		
受取利息	116	120
受取配当金	251	300
不動産賃貸料	147	147
為替差益	158	360
その他	271	234
営業外収益合計	945	1,163
営業外費用		
支払利息	11	17
不動産賃貸原価	51	51
貸倒引当金繰入額	80	84
その他	34	45
営業外費用合計	177	200
経常利益	11,174	10,434
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	—	0
その他	—	0
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産除売却損	29	32
製品回収関連損失	—	7,726
その他	82	424
特別損失合計	111	8,183
税金等調整前中間純利益	11,065	2,255
法人税、住民税及び事業税	3,065	1,841
法人税等調整額	133	△1,022
法人税等合計	3,198	818
中間純利益	7,866	1,436
非支配株主に帰属する中間純利益	1	—
親会社株主に帰属する中間純利益	7,864	1,436

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	7,866	1,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,523	912
為替換算調整勘定	3,042	6,680
退職給付に係る調整額	117	49
その他の包括利益合計	6,682	7,642
中間包括利益	14,549	9,078
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	14,547	9,078
非支配株主に係る中間包括利益	1	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	11,065	2,255
減価償却費	2,276	3,149
のれん償却額	512	706
製品回収関連損失引当金の増減額(△は減少)	—	3,603
受取利息及び受取配当金	△367	△420
支払利息	11	17
固定資産除売却損益(△は益)	27	29
売上債権の増減額(△は増加)	10,549	18,942
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,424	△7,492
仕入債務の増減額(△は減少)	1,610	△2,604
未払金の増減額(△は減少)	△2,109	△5,921
未払消費税等の増減額(△は減少)	△710	△606
その他	△2,067	△2,500
小計	11,372	9,157
利息及び配当金の受取額	342	398
利息の支払額	△13	△19
法人税等の支払額	△4,455	△4,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,246	5,522
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25,131	△17,192
定期預金の払戻による収入	25,415	24,341
有価証券の取得による支出	△2,000	△2,000
有価証券の売却及び償還による収入	2,000	2,000
有形固定資産の取得による支出	△7,624	△21,729
有形固定資産の売却による収入	2	3
無形固定資産の取得による支出	△428	△214
投資有価証券の取得による支出	△205	△5
その他	△111	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,083	△14,879
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△3,950	△4,310
その他	△110	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,061	△4,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,003	1,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,894	△12,518
現金及び現金同等物の期首残高	79,480	59,690
現金及び現金同等物の中間期末残高	75,586	47,172

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

当社が販売する機能性表示食品「紅麴コレステヘルプ」を摂取された複数のお客様が腎疾患を発症されているとの報告を受け、本製品及びそれに使用している紅麴原料(自社製造)の成分分析を行った結果、一部の紅麴原料に当社の想定しない成分が含まれていることが判明しました。現在、当社グループ及び当社グループの取引先様において、お客様の健康被害が拡大することを防ぐため、紅麴関連製品の回収を進めております。

2024年5月28日、厚生労働省により、当社の想定しない一部の成分において腎毒性が確認されたことが発表されております。現在、厚生労働省及び国立医薬品食品衛生研究所のご協力を得ながら、引き続き原因究明に向けて取り組んでおります。

また、2024年8月8日、これまでの原因究明の状況を踏まえ、当社の紅麴コレステヘルプ等の摂取によって健康被害にあわれたお客様に対する補償を開始させていただく旨を発表しております。

この状況を踏まえ、当社は当該事象に関連して、主に(1)当社製品の回収、(2)企業様向け紅麴原料の回収、(3)健康被害にあわれたお客様への補償が発生することを想定しており、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、製品回収関連損失引当金として計上しております。

しかし、現時点で合理的な見積りに及ばない範囲については、現在、情報を収集している段階であります。そのため、当社がその総額を合理的に見積ることは困難であり、追加的に費用が発生する可能性があります。

## (1) 当社製品の回収

当社は、販売代理店を通じて小売店に販売しており、小売店での店舗やECサイトにおいて製品をお客様に販売するか、通信販売により直接お客様に販売しております。現在、対象の紅麴製品の販売代理店、小売店及びお客様からの回収を進めております。今後、追加的に発生する返品に関するコールセンターのオペレーション費用や運送料、対象製品を回収するにあたって必要な広告費用等の回収費用を現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、見積り計上しております。

## (2) 企業様向け紅麴原料の回収

当社が販売している紅麴原料は当社の直接的な取引企業52社を通して国内外の取引先様に販売されている状況です。これら当社グループの取引先様において、関連製品の回収が実施されており、製品回収に係る情報の収集をお願いしております。当社は紅麴原料を使用した製品(流通在庫等を含む)の回収等の措置にご協力いただけるよう要請しており、取引先様からの情報提供等に基づき合理的に発生が見込まれる製品回収費用を現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、見積り計上しております。

## (3) 健康被害にあわれたお客様への補償

2024年8月8日に発表した内容に基づき、当社の紅麴コレステヘルプ等の摂取によって健康被害にあわれたお客様への補償について、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、見積り計上しております。

(中間連結損益計算書に関する注記)

当中間連結会計期間において、紅麴関連製品の回収及びその関連費用等について、製品回収関連損失7,726百万円を特別損失として計上しております。製品回収関連損失の主な内訳は、当社製品の回収、企業様向け紅麴原料の回収、健康被害にあわれたお客様への補償となります。

なお、紅麴関連製品に関する製造用設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しており、当該減損損失217百万円は特別損失のその他として計上しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	57,767	—	57,767	319	58,087	—	58,087
米国	—	4,663	4,663	—	4,663	—	4,663
中国	—	5,512	5,512	—	5,512	—	5,512
東南アジア	—	3,810	3,810	—	3,810	—	3,810
その他	—	1,550	1,550	—	1,550	—	1,550
顧客との契約から生じる 収益	57,767	15,538	73,305	319	73,625	—	73,625
外部顧客への売上高	57,767	15,538	73,305	319	73,625	—	73,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,425	1,033	3,458	3,149	6,608	△6,608	—
計	60,193	16,571	76,764	3,468	80,233	△6,608	73,625
セグメント利益	9,313	869	10,183	280	10,463	△57	10,406

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△57百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	54,739	—	54,739	256	54,995	—	54,995
米国	—	6,919	6,919	—	6,919	—	6,919
中国	—	4,866	4,866	—	4,866	—	4,866
東南アジア	—	4,443	4,443	—	4,443	—	4,443
その他	—	1,910	1,910	—	1,910	—	1,910
顧客との契約から生じる 収益	54,739	18,140	72,879	256	73,136	—	73,136
外部顧客への売上高	54,739	18,140	72,879	256	73,136	—	73,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,012	824	2,837	3,053	5,891	△5,891	—
計	56,751	18,965	75,717	3,310	79,027	△5,891	73,136
セグメント利益又は損失 (△)	9,784	△491	9,292	177	9,470	1	9,471

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項 (セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。